

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会議の名称	第5次朝霞市総合計画策定委員会（第8回）		
開催日時	令和2年9月29日（火）午後3時から午後3時58分まで		
開催場所	朝霞市役所 別館2階 全員協議会室		
出席者	神田市長公室長、毛利危機管理監、須田総務部長、清水市民環境部次長、三田福祉部長、田中こども・健康部次長、笠間都市建設部長、宇野審議監、田中会計管理者、木村上下水道部長、村山議会事務局長、横瀬教育指導課長補佐、神頭生涯学習部長、渡辺監査委員事務局長 （事務局） 永里政策企画課長、櫻井同課長補佐、松尾同課政策企画係長		
会議内容	1 第5次朝霞市総合計画後期基本計画（素案）について		
会議資料	【8-1】第5次朝霞市総合計画後期基本計画（素案） 【8-2】第5次朝霞市総合計画後期基本計画（素案）主な関連指標一覧 【8-3】後期基本計画（素案）における主な関連指標の修正について		
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録		
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録		
	■要点記録		
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）		
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間		
	会議録の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去	
	出席者の確認及び事務局の決裁	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月	
その他の必要事項			

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【議題】

- 1 第5次朝霞市総合計画後期基本計画（素案）について

【説明】

（神田市長公室長）

後期基本計画の素案について、まずは事務局からの説明をお願いしたい。

（事務局：松尾政策企画課政策企画係長）

資料8-1は、7月の審議会、8月の分野別市民懇談会でいただいた意見を踏まえて修正した、後期基本計画の素案である。後期基本計画の冊子に掲載する一連の内容がイメージできるようにまとめているが、最終的には、この資料のデザインを整えて、冊子として製本することを考えている。

今後は、10月16日に審議会を開催し、後期基本計画の素案について審議する。その後、次回策定委員会は11月上旬に開催し、最終的な後期基本計画の素案を固めて、11月中旬からパブリック・コメントを実施する予定である。

資料8-1の詳細について説明する。1ページから42ページにかけての第1部総論と、続く第2部基本構想については、いずれも前期の冊子と同じ内容を記載している。

43ページから173ページにかけてが、本題の第3部後期基本計画である。44ページからの序論について、これまでと大きく変えた部分を中心に説明する。48ページ「(2) 財政」では、一般会計の歳入・歳出の推移のみ掲載していたが、50ページに記載のとおり、令和元年度の決算が認定後、特別会計と公営企業会計のデータも掲載し、充実させる予定である。

次に、58ページから62ページにかけて、「6 基本概念（コンセプト）の進捗状況」を追加し、市政モニターへのアンケート結果から、市の取組に対する市民満足度を掲載した。審議会からいただいている「満足度で評価してはどうか」という御意見を踏まえ、市で毎年度測定し、外部評価で用いている評価指標を掲載した。

続いて、76ページから巻末にかけて、後期基本計画の施策を記載している。まず、大柱の名称「1 防災・消防」と、その右側にはSDGsの17の目標から関連するもののアイコンを掲載した。その次に、「目指す姿」を記載し、これまではこの大柱の下に位置付けた中柱の施策にそれぞれで掲げていた成果指標を「主な成果指標」として一括して掲載し、その下に「関連する個別計画」をまとめている。

さらにその下には、「具体的な施策」として、中柱の名称「(1) 防災対策の推進」と「現状と課題」を記載し、この中柱の下に位置付けた小柱を「①総合的な防災体制の強化」、「②防災施設などの整備」のように挙げた。

また、これまで審議会や議会で頻繁にいただいている指標への御意見を踏まえ、中柱の主な成果指標の全体的に見直しを行ってきているが、やはり1つの成果指標だけでその中柱を的確に表すのが難しい施策もいくつか残っていることから、今回、施策で取り組む内

容や状況の見える化を図るため、事務局において中柱施策の下に位置付く事務事業に設定している指標を中心にいくつか指標を抜き出し、平成28年度から令和元年度までの4年間の実績値の推移を、「主な関連指標の推移」として掲載している。

例えば、76ページの中柱施策「(1) 防災対策の推進」では、主な関連指標として、「備蓄食料の購入数」、「設備の適切な維持管理」をはじめとする5つの関連指標の推移を掲載した。事前配布までに資料作成が間に合わなかったことから、第3章以降の空欄の部分は、資料8-2に一覧でまとめ、本日机上配布した。

主な関連指標の推移については、施策担当課で見直し、適切なものへと修正していただきたい。資料8-3はその修正依頼と要領をまとめた資料である。別途事務連絡の形で、庁内策定部会員に依頼する。

事務局からの説明は以上であるが、後期基本計画（素案）を審議会に当たって、説明した大きく変えたところ以外にも、資料8-1全体を通して御審議いただきたい。

【質疑】

(神田市長公室長)

これまでの審議会における議論の大半が指標の見直しに対する御意見であった。審議会や議会からは1つの指標だけでは施策の全体が見渡せないだろうという御意見があり、指標の在り方が問われている。満足度で評価すべきではないかといった御意見を踏まえ、1つは58ページから市民満足度の結果を掲載した。また、施策評価や事務事業評価で設定している指標はできる限り示し、市民の皆様に評価していただくべきであろうと考え、もう1点は主な関連指標の推移を掲載している。いずれも審議会の御意見を踏まえた改善点ではあるが、まずは事務局で整理した案であるため、御意見をいただきたい。

(毛利危機管理監)

58ページの「6 基本概念（コンセプト）の進捗状況」を見ると、59ページ「安全安心なまち」では、「集中豪雨などによる浸水被害の軽減対策」を除き、概ね全ての項目について、平成28年度と比較して令和元年度の満足度が上昇している。60ページの「子育てがしやすいまち」では、逆に概ね全ての項目で満足度が減少している。これらのことについて評価し、記載しているページはあるのか。

(事務局：永里政策企画課長)

市民満足度は毎年度測定しているが、今回は、スペースの都合上、平成28年度と令和元年度だけを掲載した。「子育てがしやすいまち」は、平成28年度と令和元年度だけを見ると全て下がっているように見えてしまうが、4年間で見ると、上がったりがったりしている状況であるため、4年度分を掲載するようにしたい。また、市民満足度の状況について評価しているページは無いので、記載するようにしたい。

(神田市長公室長)

市民満足度は、社会情勢とリンクして上がり下がりする性質のものでもある。掲載でき

るならば全てのデータを掲載した方がよい。

また、市民満足度に限らず、他の指標も同様に、実績値を示すと、市はどう評価しているのかが問われる。どう評価しているのかについて、市の考えを示す必要がある。

(須田総務部長)

53ページ「4 社会の潮流、まちづくりの課題の整理」には、前期基本計画中的の変化を踏まえたまちづくりの課題についてまとめられている。市民満足度の状況がここにつながるように編集すればよいのではないかと。

(神田市長公室長)

意見を踏まえ、事務局は構成の見直しを検討してほしい。

(三田福祉部長)

58ページの標題「6 基本概念（コンセプト）の進捗状況」で、「進捗状況」とあるが、コンセプトで進捗を管理することについて、違和感がある。構成の見直しと併せて、表現の修正を検討してほしい。また、満足度の数値だけではなく文章も加えて評価した方がよい。

(事務局：永里政策企画課長)

御意見を踏まえ、構成の練り直し、つながりが見えるように修正する。

(神田市長公室長)

4つのコンセプトの評価として、市民満足度を掲載することには了承いただいていると認識した。

ただ、掲載するからには、平成28年度と令和元年度だけに限らず、4年度分掲載することにしたい。

(麦田こども・健康部長)

「6 基本概念（コンセプト）の進捗状況」と「4 社会の潮流、まちづくりの課題」の構成を見直すに当たっては、前期の振り返りと、その上での課題が明らかになるような記載とした方がよい。前期期間中に、どういうことをしたのか、また、結果的に、どういう課題が残っているのかについて記載できるようにしてほしい。

(神田市長公室長)

53ページ「4 社会の潮流、まちづくりの課題の整理」に掲載されている項目は、どうしてこの14項目になっているのか。

(事務局：永里政策企画課長)

前期基本計画策定の際に、市民との意見交換を踏まえて設定した項目であり、後期も

この14項目について、前期基本計画期間中の変化、差分に焦点を当て、課題を整理している。

(神田市長公室長)

前期基本計画の策定過程を踏まえた14項目であるが、必要に応じて項目を追加、修正しても良いものである。これらの課題整理を受けて後期基本計画の計画づくりが始まっているため、非常に重要な部分である。各部会はこのことを意識して確認してほしい。

「6 基本概念（コンセプト）の進捗状況」が「4 社会の潮流、まちづくりの課題」の前か後か、構成を事務局で検討してほしいが、その際、4つのコンセプトでの課題の整理を加えるようにしてほしい。

(三田福祉部長)

63ページの後期基本計画の序章が唐突に始まっており、分かりにくい印象を受ける。区切りのページを入れるなどして、分かりやすくした方がよい。

(事務局：永里政策企画課長)

御意見を踏まえ、修正する。

(神田公室長)

先日の議会定例会の一般質問において、総合計画に記載されていないことに対する質問と市長の答弁があったが、後期基本計画には、今後5年間を見据えて、想定される課題を全てカバーできるような記載で、施策の方向性をまとめていく必要がある。策定委員会の委員各位はこの点を意識してほしい。

(木村上下水道部長)

146ページの大柱5「上下水道整備」について、後期基本計画では新たに中柱1「上水道の整備・充実」、小柱1「老朽施設の更新」を位置付けているが、前期基本計画ではこれに対応する指標を挙げていなかった。そこで確認したいが、「主な関連指標」については、平成28年度から令和元年度の数値を掲載し、令和3年度以降の指標はまた別途考える、ということでしょうか。後期基本計画に掲載を予定していない指標をここに挙げて問題はないのか、確認したい。

(事務局：櫻井政策企画課長補佐)

後期基本計画での指標の変更は可能である。また、施策の内容を補足につながるものであれば、後期基本計画の進捗管理に用いない指標をここに挙げて問題はない。

(三田福祉部長)

「目指す姿」などでは今後のことを記載しているのに対して、「主な関連指標の推移」で過去の数値を書くのは違和感がある。「目指す姿」の下にある「主な成果指標」を記載する

だけではだめなのか。「主な関連指標の推移」を掲載する必要はあるのか。

(神田市長公室長)

これまで、「主の成果指標」だけを示してきたが、審議会からは、1つの指標だけでは施策の全体が見渡せないという御意見を多数いただいている。少しでも姿を見せる努力をしたものが、「主な関連指標の推移」の追加である。

(三田福祉部長)

そういうことであれば、「主な関連指標の推移」は、あくまで上の文章を説明、補強するため、過去の数値を掲載することにした方がよいのではないかと。過去の実績値が取得できていないのであれば、補足になりにくいと、新たな指標については入れない方がよい。

(神田市長公室長)

「主な関連指標の推移」は、施策を説明、補強するためのものとして、これまでの数値の推移を掲載することにする。

(須田総務部長)

第1部総論、第2部基本構想とあって、第3部後期基本計画が続いているが、総論で出てきたグラフやまちづくりの課題がもう1度、第3部でも出てくるため、重複感があり、分かりにくく、読み手が混乱する恐れがある。

紙の色を変えるなど、少し違うことが分かるような工夫して欲しい。また、次回、第6次では基本構想だけ別冊にしても良いのではないかと。

(神田市長公室長)

事務局で工夫してほしい。

(三田福祉部長)

福祉部で書き落としている部分があるが、修正可能か。

(事務局：櫻井政策企画課長補佐)

冒頭の説明のとおり、本会議終了後、主な関連指標の見直しを依頼するが、指標の見直しと併せてそれ以外の修正についても受け付けたい。

(神田市長公室長)

策定委員会の委員各位には、令和3年度の予算事務の進め方について意識してほしい。厳密には、後期基本計画が出来上がって、それを反映した予算要求をして、それが作りこまれた実施計画が策定されて、議案として出ている、という流れになる。時間軸で見ると、そこまで厳密な進め方は難しい。12月の全員協議会で、に後期基本計画の素案の段階で説明する予定である。そこでは、このような後期基本計画の素案に位置付けた施策の方向

性に基づき、予算立ての作業に取り組んでいること、また、市民からの意見で修正も考えられるが素案に位置付けた施策の方向性に基づき予算立てをしていることを説明するつもりである。これを受けて、実施計画に向けて、予算編成して、予算査定して、2月の全員協議会でもう一度説明する予定である。後期基本計画の考え方に基づいた予算立てになっているか、策定委員会の委員各位にも問われることになる。後期基本計画を意識した予算編成になっているか、また総合計画にも記載されているかという点に注意して、事務局は実施計画ヒアリングに取り組んでほしい。

(事務局：松尾政策企画課政策企画係長)

事務連絡が2点ある。

1点目、資料8-1後期基本計画(素案)は製本のためのデザインを加えていない段階のものである。今後、製本のためのデザインを考えていく際に、第1部総論と第2部基本構想が読みやすくなるよう検討していきたい。

2点目、次回策定委員会は11月上旬を予定している。パブリック・コメントの実施に向けて、最終的な後期基本計画の素案を固めるために審議していただく。

(神田市長公室長)

パブリック・コメントはいつ実施するのか。

(事務局：松尾政策企画課政策企画係長)

現時点では、令和2年11月12日(木)から12月11日(金)までの30日間を予定している。

(神田市長公室長)

本日の策定委員会はこれで閉会する。

【閉会】